



子どもたちの心に寄り添うために…

オンライン開催

奈良少年刑務所で行われていた

社会性涵養プログラムからの発信

日程 2022年 3月 20日（日）
10:00～16:00（休憩1時間:全5時間）

講師の先生ご紹介 ご登壇順

寮 美千子先生

作家。奈良少年刑務所で社会性涵養プログラムの一環として詩の授業を9年間担当。
「空が青いから白をえらんだのです」「世界はもっと美しくなる」「あふれでたのはやさしさだった」など著者多数

竹下三隆先生

定年退職まで30年間、少年院や少年刑務所で法務教官として勤務。社会性涵養プログラムを担当。現在はスクールカウンセラー、メンタルサポーター等をしています。

乾井智彦先生

法務教官として30年間勤務。社会性涵養プログラムを担当。その後、保護司、奈良県地域生活定着支援センター、ワンネス・グループ、若者サポートステーション等6つの職場を掛け持ちしています。

奈良少年刑務所の受刑者を対象に実際に行われていた社会性涵養プログラムについて、その内容や社会性とは何か、人との信頼関係を持つために必要なことは何か等について受刑者の言葉を通してお話してもらいます。

講師の言葉「このプログラムは、何かができるようになることで自信（条件付き自信）を付けるのではなくて、できないことを「OK!」として他者に受け入れてもらうことで自分の存在への自信（根源的自信）を育むことを目指したプログラムです。安心できる人・場所・時間があれば人の心は動き出します。カウンセラーの在り方や教育や子育てについても考える機会になるのではないかと思います」

<講演内容>

○午前の部 10:00～12:00

社会性涵養プログラムにおける詩の授業とは…

このプログラムのために外部から招聘された作家である寮美千子先生が「物語りの教室」や「詩の時間」を通して、出会い関わっていった子どもたちの姿を語っていただきます。

○午後の部 13:00～16:00

社会性涵養プログラムとは…

実際に法務教官としてこのプログラムを行っていた講師の先生方から、このプログラムの成り立ち、目的、実際の事例についてお話していただき、臨床活動の中で安心できる人・場所・時間について考えを深めましょう。

対象者 子どもに関わるさまざまな職種の方

（sc・ssw・教員、指導員、施設職員など、もしくは心理・教育分野の大学院生）

参加費 全日参加 8,000円（半日参加 5,000円）

お申込みメールフォーム

http://nara-futoko.net/index_mailform_20223.html



なら思春期・不登校支援研究所 とは…

本研究所は、子どもたちを支える保護者や、教員・スクールカウンセラーなどの専門職をサポートするための研修の機会を提供します。職種や立場を超えて、みんなで学び支援の輪を広げていくための、拠点の一つとなることを目指しています。

アドバイザー：伊藤美奈子・粕谷貴志・栗本美百合・阪中順子
相馬誠一・竹下三隆・良原恵子（五十音順）

お申込み方法

メールフォームに下記の項目を明記ください

※締切： 3月 10日（木） 定員50名

<先着順、定員になり次第締め切ります>

申し込み先：右のメールフォームもしくはQRコード より

- 1) 氏名（ふりがな）
- 2) 携帯電話番号
- 3) 返信用アドレス
- 4) 職種
- 5) 勤務地または居住地
- 6) 全日・午前・午後
- 7) お持ちの方は臨床心理士番号
- 7) 質問したいことなどがあれば

*振り込みが確認されてから、お申し込みが確定します

振込先は、お申込みの後

メールにてお知らせいたします

問い合わせ先 なら思春期・不登校支援研究所

研修担当栗本 sayurikuri@gmail.com

臨床心理士ポイント申請予定（全日参加の方のみ）